

## 高校入試がスタート！

1月9日（日）から、私立高校の入学試験がスタートしました。普段行っている感染対策を継続しながら、自信をもって試験に臨み、3年生一人一人の目標を達成できることを期待します。また、1月20日（木）から始まる3年生を対象にした三者面談では、私立高校の合否結果を踏まえながら、県立高校の志願校を決定していきます。

1、2年生も、中学校卒業後の進路に関心を持ち、必要な準備を今から始めていきましょう。そこで、今回は県立高校についての情報をお伝えします。今からできる準備は何か考えてみましょう。



### 県立高校調査書には1、2年生の評定が入ります

右は茨城県立高校の調査書の一部です。○で示した箇所に注目しましょう。「各教科の学習の記録」として、1、2年生の評定を記入する欄があります。ここには、3月にお渡しする通知票の学年評定が転記されます。そして、各高校では、3年間の9教科の評定合計の値を合否判定の資料として活用します。しかもこの値は、合否判定において約50%の重みをしめます。このことは、5教科の学力検査で高得点を得たとしても、評定合計値が低ければ合格できない場合もあることを示しています。

3年生から、「1・2年生の時に、課題の提出をしっかりとっておけばよかった。」、「1・2年生の時に、どの教科にも力を入れておけばよかった。」などの声が聞かれるのはこのためです。

1・2年生のみなさん、ここまで説明すれば今からできる準備は何か、もうお分かりですね。まだ間に合います。普段の授業や提出物などを大切に、しっかり努力していきましょう。

なお、この調査書の様式は茨城県教育委員会のホームページで公開されています。詳細は、「令和4年度茨城県立高等学校入学者選抜実施細則」をご覧ください。

### 3年生から1・2年生へのアドバイス

「3年生になったら、1・2年生には戻れません。後悔しないように、いろいろな努力を今からしておくことをすすめます」 Aさん

「作品やワークの提出も、とても大切だったと今では感じています。」 Bさん

「やる気ある時は、誰でもできるそうです。でも成功する人は、やる気がない時でもやるそうです。今からこの気持ちを大切にしましょう。」 Cさん

